

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: support_apl@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-120A/JA	Rev.	第1版
題名	M30245 グループ UiC1レジスタ (i=0~3) に関する注意事項		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	M30245 グループ	対象ロット等	関連資料	-	

1. 注意事項

CLK_i端子と $\overline{\text{CTS}}_i$ 端子のレベルが“H”(注1)のとき、UiMRレジスタの設定を以下のいずれかにすると、UiC1レジスタのUiEREビットが“1”(パリティエラー信号出力許可)になります。UiEREビットが“1”(パリティエラー信号出力許可)になった状態でUiMRレジスタのPRYEビットを“1”(パリティ許可)にした場合、受信時にパリティエラーが発生すると、TxDi端子から“L”レベルが出力されます。

- ・ SMD2~SMD0ビットを“0002”(シリアルI/Oは無効)から“1012”(UARTモード転送データ長8ビット)にする
- ・ SMD2~SMD0ビットを“0012”(クロック同期形シリアルI/Oモード)から“1002”(UARTモード転送データ長7ビット)にする
- ・ SMD2~SMD0ビットを“0012”(クロック同期形シリアルI/Oモード)から“1012”(UARTモード転送データ長8ビット)にする
- ・ SMD2~SMD0ビットを“0012”(クロック同期形シリアルI/Oモード)から“1102”(UARTモード転送データ長9ビット)にする
- ・ SMD2~SMD0ビットを“0102”(I2Cモード)から“1012”(UARTモード転送データ長8ビット)にする

注1) CLK_i、 $\overline{\text{CTS}}_i$ として使用していない場合でも、端子レベルが“H”のときはこの条件に該当します。

2. 対策

UiMRレジスタを設定した後、UiEREビットを設定してください。

$\overline{\text{CTS}}_i$ 、CLK_i と端子を共有する機能一覧

	$\overline{\text{CTS}}_i$	CLK _i
UART0	P60 / $\overline{\text{RTS}}_0$ / $\overline{\text{SS}}_0$ / WS0	P61 / SCK0 / CLK0
UART1	P64 / $\overline{\text{RTS}}_1$ / $\overline{\text{SS}}_1$ / WS1	P65 / SCK1 / CLK1
UART2	P73 / TA1IN / $\overline{\text{RTS}}_2$ / $\overline{\text{SS}}_2$ / LED3	P72 / TA10OUT / SCK2 / CLK2 / LED2
UART3	P77 / TA3IN / $\overline{\text{RTS}}_3$ / $\overline{\text{SS}}_3$ / LED7	P76 / TA30OUT / SCK3 / CLK3 / LED6